

短期大学部

[2023年度以降入学生に適用]

教育目標

中村学園大学短期大学部（以下「本学」という）は、建学の精神に基づき「清節・感恩・労作」を旨とし、豊かな教養と人間性を備え、地域社会の発展に寄与する社会人・職業人を育成することを教育目標とする。

ディプロマポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

2年以上在学し本学の課程を修め、次のような資質・能力を身に付けた者に短期大学士の学位を授与する。

態度・志向性

- (1) 本学の「建学の精神」及び各学科の教育目標を修得している。
- (2) 短期大学士としてふさわしい礼節、良識を身に付けている。
- (3) 各学科の専門性に応じて求められる資質を有し、社会に貢献することができる。

知識・技能

- (1) 教養教育を通して、豊かな感性や表現する力を身に付けている。
- (2) 専門教育を通して、広い視野から考察し、課題を解決する知識と技能を修得している。

実践力・応用力

- (1) 学修した知識・技能、専門性を活用して自ら課題を発見し、解決に向けて行動することができる。

カリキュラムポリシー（教育課程の編成方針）

本学の建学の精神と教育理念に沿ったディプロマ・ポリシーを具現化するために、各学科がそれぞれの教育目的に基づく学修成果の達成に必要な教育課程を体系的・系統的に編成し実施する。授業は、講義、演習、実習等を適切に組み合わせた科目編成により展開する。

態度・志向性

- (1) 本学の「建学の精神」及び各学科の「教育目標」を修得し、学生としての学修・生活態度を修得するための初年次教育科目を配置する。
- (2) 各学科の専門性に応じて求められる資質を修得するためのキャリア教育科目を配置する。

知識・技能

- (1) 基盤教育・教養教育科目
各学科の専門分野の基礎となる技能、社会人として必要とされる基礎的な思考力や実践能力を育成

するための科目編成に加え、専門の枠を超える広い視野と基礎的な教養を涵養するために短期大学部
共通教養科目（合同科目）を配置する。

(2) 専門的な教育科目

専門的な知識・技能と思考力を育成するために、各学科のディプロマ・ポリシーに基づいて、体系的に編成する。

実践力・応用力

- (1) 専門性を活かして活躍する多様な現場で、状況に応じて適切な対応ができる実践力と応用力を修得することができるキャリア教育科目を配置する。

学修成果は、シラバスに提示された学修成果評価基準に従って、各科目で設定する到達目標への到達度で評価する。

アドミッションポリシー（入学者の受入方針）

本学の建学の精神に基づき「清節・感恩・労作」を旨とし、様々な活動を通して豊かな教養と人間性を備え、地域社会の発展に寄与する社会人・職業人をを目指す人の入学を求める。

そのために、以下のような人を多様な選抜方法で適切に選抜する。

- (1) 高等学校での教育課程を修得し、本学入学後の学修に必要な基礎学力を有している人
- (2) 入学を希望する学科の専門知識と技能を修得する意欲が強い人
- (3) 基本的なエチケット・マナーやコミュニケーション能力を有し、その向上を目指す人
- (4) 課題を発見する能力を身に付け、知識や技能を活用して課題解決に努めようとする意欲のある人

【入学前の学習について】

- (1) 特定の科目に偏ることなく、高等学校で学習した全ての教科目の基本的内容を理解しておくことが望ましい。
- (2) 本学が行なう入学前教育に積極的に取り組み、本学で何を学ぶのかについて考え、指定された課題を学習し、入学後の学修に備える。

短期大学部

[2022年度以前入学生に適用]

教育目標

中村学園大学短期大学部（以下「本学」という）は、建学の精神に基づき「清節・感恩・労作」を旨とし、豊かな教養と人間性を備え、地域社会の発展に寄与する社会人・職業人を育成することを教育目標とする。

ディプロマ・ポリシー（卒業認定・学位授与に関する方針）

所定の単位を修得し、各学科のディプロマ・ポリシーを満たし、次の能力を身につけた人に卒業を認定し、短期大学士の学位を授与する。

1. 態度・志向性

様々な場面に応じ、自分の意見を文書等によって適切に表現し、他者と意思の疎通ができる。
多様な価値観や考えがあることを理解し、他者と積極的に協働して社会貢献に寄与できる。

2. 知識・技能

教養教育を通して、豊かな感性や表現する力を涵養している。
専門教育を通して、広い視野から考察し、問題を解決する知識と技能を身に付けている。

3. 実践力・応用力

学修した知識を活用して問題発見に努め、状況に応じた解決法を導くことができる。

カリキュラム・ポリシー（教育課程の編成方針）

本学の建学の精神と教育理念に沿ったディプロマ・ポリシーを具現化するために、各学科がそれぞれの教育目的に基づく学修成果の達成に必要な教育課程を体系的・系統的に編成し実施する。授業は、講義、演習、実習等を適切に組み合わせた科目編成により展開する。

1. 教養的教育科目

各学科の専門分野の基礎となる技能、社会人として必要とされる基礎的な思考力や実践能力を育成するための科目編成に加え、専門の枠を超える広い視野と基礎的な教養を涵養するために短期大学部共通教養科目（合同科目）を配置している。

2. 専門的教育科目

専門的な知識と思考力を育成するために、各学科のディプロマ・ポリシーに基づいて、体系的に編成している。

3. 評価

履修した授業科目の学習成果は、シラバスに示された学修成果評価基準に従って、筆記試験や課題等、またはこれらの組み合わせにより総合的に評価する。

アドミッション・ポリシー（入学受入れ方針）

本学の建学の精神に基づき「清節・感恩・労作」を旨とし、様々な活動を通して豊かな教養と人間性を備え、地域社会の発展に寄与する社会人・職業人を目指す人の入学を求める。

そのために、以下のような人を多様な選抜方法で適切に選抜する。

1. 高等学校での教育課程を幅広く修得し、本学入学後の学修に必要な基礎学力を有している人
2. 他者と意思の疎通を図り、良好な関係を築くことができる人
3. 自分の意見をまとめ、他者に分かるように説明できる人
4. 問題を発見する能力を身につけ、物事を正しく認識し評価しようとする人
5. 知識や技能を活用して課題解決に努めようとする意欲のある人

【入学前の学習について】

1. 特定の科目に偏ることなく、高等学校で学習した全ての教科目の基本的内容を理解しておくことが望ましい。
2. 本学が行なう入学前教育に積極的に取り組み、本学で何を学ぶのかについて考え、指定された課題を学習し、入学後の学修に備える。